

110年前のシンメルブッシュ氏消毒器が

中山艦博物館(中国・武漢市)に展示

サクラ(鯛屋 松本器械店)の輸出品

サクラグローバルホールディング株式会社(代表取締役会長・松本謙一氏)のグループ企業である中国・櫻花医療科技(泰州)有限公司の船谷毅総経理に、中国武漢市の「中山艦博物館」の黄文建氏より、博物館の陳列



品に関して問い合わせがあった。

その内容とは、製品に「G. MATSUMOTO & CO. TOKYO 東京本町三丁目 鯛屋松本器械店」の銘板があることから、黄氏は、「中山艦は、日本から1912年に購入した船であり、添付した写真はサクラの110年前の製品ではないか?」とのことから、製品名と写真を貼付し「製品の確認と正式名称及び用途」、見学者に説明するための「簡略な会社紹介」をお願いしたい。という内容であり、これを受けた船谷毅総経理から、グループ会社である(株)



用途は診療や手術時に使用する器械・器具類の煮沸消毒。消毒は100℃・約30分。中山艦に搭載、使用されたため熱源は蒸気仕様となっている。

いわしやサクラの田村幸一郎代表取締役社長へ詳細な調査の依頼を行った。田村社長は、送られてきた写真をもとに、明治四十三年発行のいわしや(わは変体仮名のわ) 松本器械店、医科器械目録第十六版と照合の結果、問い合わせの製品はサクラの製品で間違いありません。銘板が何よりの確証。

正式名称は「シンメルブッシュ氏煮沸消毒器」。もう一台は「シンメルブッシュ氏乾燥装置附蒸気消毒器」で予め貯槽缶(丸形カスト)に糊帯材料・ガイズなどの物品を収納して、器内に収めた後、蒸気で消毒し、引き続き蒸気熱による乾燥を行う。作用は器体底部の煮沸槽内の水を加熱蒸発させる。発生した蒸気を器内に噴入させて100~105℃に達してから約30分間消毒を行う。続いて蒸気の噴入を切り替えて周

壁内(二重壁の間)に送ると同時に、その排出力を応用して吸引力を生じさせ、これによって器内の湿気を排出するとともに外部の乾燥空気を入れる。内部の消毒済み物品には周壁から熱を与えているため、乾燥が促進される機構です。乾燥時間は約40分間—との内容で返信した。

◎中山艦博物館 II 「中山艦」はもともと「永豊船」と呼ばれ、サン・ヤットセン氏にちなんで名づけられた。中国近現代史の名艦。1910年清政権が長崎三菱造船所に発注。1916年6月に建造、22年6月サン・ヤットセン氏は、チェン・ビンミンの反乱を制圧するために本船で上陸した。1925年4月、サン・ヤットセン氏を記念して永豊船を「中山艦」と改名、1938年武漢戦争で長江の金口海域で日本機により沈没した。その後引き上げられ博物館の船体展示室となった。